

保護者のみなさまへ

～「令和6年度全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチ」の結果について～

河内長野市立小山田小学校

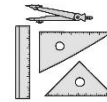
《基本的な考え方》

すくすくウォッチは、子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけることを目的とし、子どもたちに各教科の学力に加え、ことばの力や文章や情報を読み取り考える力、様々な情報を活用する力、そして「見えない学力」と言われるねばり強さや好奇心などを育む、大阪府としての取組みです

これらをふまえて、本校では、次に挙げるような成果が期待されると考えております。

○子どもたちは、それぞれの学習の到達状況を知ることで、学習意欲を高め、自ら目標を持って今後の学習の改善や励みになる。

○学校は、自校の状況をより詳細に分析することで、子どもたちの確かな学力及び教員の指導力・授業力の向上につながる。



《調査結果の取り扱い》

今年度のすくすくウォッチの結果と分析を提供いたします。

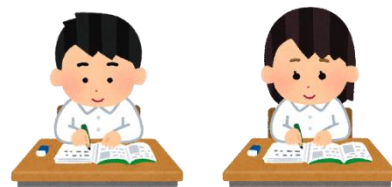
◇本調査により測定できるのは、学力の限られた一部分であり、学校における教育活動の一つの側面です。すべての学力を捉えられているものではないことに十分留意して取り扱うことが必要です。

◇学校は、「子どもにどのような力がついてきたのか」「学校がどのような教育を進めているのか」「子どもの学習状況や生活習慣等にどのような良い点・課題があるのか」など、一人ひとりの学力向上の取り組みの改善とともに、学校における課題を整理して、課題改善する取り組みを進めていきます。

《お願い》

□学習への意欲は、子どもの自尊感情と大きな関係があります。友だちやきょうだいと比較することは、意欲を低下させる場合があります。今回の結果からお子様の伸びや課題を知り、まずはお子様の良いところを褒めてください。その上で、課題について頑張っ克服できるよう励ましてあげてください。そのことがお子様の学習意欲を高めることにつながります。

□学力の向上は学校が主にその役割を担いますが、各家庭におかれましても、今回の結果を子どもたちの基本的な生活習慣の見直しや今後の家庭学習の進め方等の参考にさせていただきますようよろしくお願ひします。



すくすくウオッチの概要

国語

概要

平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」について大阪府より大きく上回る結果であった。特に助詞の使い方や主語・述語の関係など、文を組み立てる際に必要となる基礎的・基本的な言葉の使い方の定着が見られた。

特に成果が見られた問題例

- ③(2)「主語に合わせて述語の部分を正しく書く問題」では主語と述語の関係を読み取り、正しく理解できている。
- ①①「文と文の意味のつながりを考えながら、適切な接続表現を使って一文で書く問題」では、逆接の接続語を正しく捉え、文の意味を変えずに解答することができている。
- ②(1)(2)「文中の助詞を正しく使う問題」では、文脈に合わせて正しい文に書き直すことができている。

特に課題が見られた問題例

- ⑤「故事成語の意味を正しく理解する問題」では、「矛盾」の意味を理解できていない。

算数

概要

平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」共に、大阪府より上回る結果であった。しかし、文章から情報を読み取って考える問題が多く、全体的に正答率は高くなかった。

特に成果が見られた問題例

- ①(1)「道のりを求める問題」では、長方形の性質をもとに道のりを考え、計算することができている。
- ①(3)「図形の面積の求め方を説明する問題」では、図形を構成する要素に着目し、示された考え方に合わせて立式することができている。

特に課題が見られた問題例

- ①(4)「図形の性質の違いを考える問題」では、円の性質を基にして、円周から中心までの距離が同じであることを説明することができていない。
- ②(3)「二つの数量関係を説明する問題」では、例に示された図と説明を対応させて考えることが難しい。

理科

概要

平均正答率は、大阪府より上回る結果であった。評価の観点の「知識・技能」は大阪府を上回っていたが、「思考・判断・表現」については大阪府を下回っていた。

特に成果が見られた問題例

- ②(1)「磁石に引き付けられるものを分類する問題」では、鉄でできたものが、磁石に引き付けられることを理解している。
- ①(3)「水が沸き立つ状態の名称を問う問題」では、「ふっとう」と正しく答えることができている。
- ①(5)「昆虫についての問題」では、昆虫の育ち方の順序が理解できており、正しい名称が定着している。

特に課題が見られた問題例

- ①(4)「水蒸気に関する問題」では、水が蒸発した時の様子を理解できていない。
- ②(4)「磁極について実験結果を整理して考える問題」では、磁極の性質が理解できていない。
- ①(1)「太陽の沈む方向についての問題」では、授業で学んだ方位について日常生活や問題の意図に結び付けて考えることができていない。

わくわく問題 (教科横断的な問題)

観点別	
A	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。
B	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。
C	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。
D	図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。
E	興味関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。

概要

観点別に比較すると、どの観点においても、平均正答率が大阪府より上回る結果であった。特に、E (興味・関心のある事柄について、意欲的に工夫して相手に伝える) が大阪府より大きく上回っている。

特に成果が見られた問題例

② (1) 「曲の特徴を比較し、座標軸にまとめた図を選択する問題」では、情報を整理し、図と会話文の内容を関連付けて正しくとらえることができています。

③ (1) 「資料の問題を読み取る問題」では、情報を整理し、資料とメモを比較して間違っているものを選び出すことができています。

特に課題が見られた問題例

① (2) 「チェーンとギヤの仕組みの問題」では、日常的な場面の中で、算数的な能力を使って問題を解決することに課題がある。

② (2) 「論理的に思考する力を問う問題」では、複数の情報から条件を整理し、筋道立てて考えることが難しい。

すくすくウォッチ 5年生 児童アンケート

特に成果が見られたアンケート項目例

- ・難しいことがあっても、あきらめない。 [あてはまる・ややあてはまる 82.5%]
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれる。 [あてはまる・ややあてはまる 98.2%]
- ・自分の考えをノート等書いている。 [あてはまる・ややあてはまる 94.8%]

特に課題が見られたアンケート項目例

- ・普段 (月曜日から金曜日) 1日に、およそどれくらいの時間、学習以外 (ゲームやSNS等) にスマートフォンやタブレットを使っていますか。 [3時間以上 38.6%]
- ・予期しない出来事が起きた時、原因がわかるまで調べる。 [あてはまらない・ややあてはまらない 29.8%]
- ・自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強をしている (宿題は除く)。 [あてはまらない・ややあてはまらない 36.8%]

全国学力・学習状況調査の概要

国語

概要

平均正答率は、「思考・判断・表現」については、全国・大阪府を上回る結果となった。一方「知識・技能」については、全国・大阪府を下回る結果であった。「読むこと」「書くこと」の正答率は高く、特に記述式問題の正答率が高かった。しかし、「知識・技能」についての「言葉の特徴や使い方に関する事項」の正答率は低かった。

特に成果が見られた問題例

② 二「文章の空欄に入る内容を、取材メモを基にして書く問題」では、目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して、自分の考えが伝わるように書くことができています。

③ 三「物語を読んで、心に残ったところとその理由をまとめて書く問題」では、人物像や、物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりして条件に合わせて自分の考えを書くことができています。

① 二（２）「オンラインで交流する場面における話し方の工夫として適切なものを選択する問題」では、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができています。

特に課題が見られた問題例

② 三ア「漢字を文中で正しく使う問題」では、「競技」という漢字を文の中で正しく使うことができていない。

① 一「目的や意図に応じて伝え合う内容を検討する問題」では、資料をどのように整理したかの意図を読み取れていない。

算数

概要

平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」共に、全国・大阪府より下回る結果となり、文章問題や記述で解答する問題に関しては、正答率が低かった。しかし、無回答率が非常に低く、意欲的に問題に取り組もうとする姿勢が見られた。

特に成果が見られた問題例

① （１）（２）「数量の関係を式に表す問題」では、立式の基本的な考え方はできている。

⑤ （１）「円グラフから割合を読み取る問題」では、グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることができている。

⑤ （４）「必要な数値を読み取り立式して考える問題」では、示された情報から相応しい式を選び、基準値を超えるかどうか判断することができている。

特に課題が見られた問題例

③ （２）「円柱の展開図に関する問題」では、直径の長さ、円周の長さ、円周率の関係について理解できていない。

④ （３）「速さを比べる問題」では、道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて正確に記述することができていない。

⑤ （３）「折れ線グラフを読み取る問題」では、示された情報から必要な数値を読み取り、言葉と数を使って条件に当てはまることを書き表すことに課題がある。

すくすくウォッチの概要

理科

概要

平均正答率は、「知識・技能」「思考・判断・表現」について大阪府より上回る結果であった。特に、「記述式の問題」においては、大阪府を大きく上回っていた。また、無回答率が非常に低く、意欲的に問題に取り組もうとする姿勢が見られた。

特に成果が見られた問題例

① (4) 「水蒸気に関する問題」では、水が蒸発した時の様子を理解し、実際の現象にあてはめて考え、書き表すことができている。

② (1) 「人体についての問題」では、人体の各部位の名称を正確に理解することができている。

② (3) ① 「電流に関する問題」では、簡易検流計の正しい使い方について理解することができている。

特に課題が見られた問題例

① (1) 「太陽の沈む方向についての問題」では、授業で学んだ方位について、日常生活や問題の意図に結び付けて考えることができていない。

① (5) 「昆虫についての問題」においては、昆虫の育ち方の順序を理解できておらず、正しい名称が定着していない。

② (4) ② 「振り子の問題」では、振り子の周期と長さの関係を実験の結果から適切に考察することができていない。

わくわく問題 (教科横断的な問題)

観点

A 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。

B 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。

C 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。

D 図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。

E 興味関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える。

概要

観点別に比較すると、どの観点においても、大阪府より上回る結果であった。特に、E (興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える) は、大阪府よりも大きく上回っており、本校の昨年度と本年度の研究内容である「読み取ったことを表現に活かす」力や「自分の考えをもち、表現できる」力を育てる授業での取り組みについて、一定の成果が見られた。また、無回答率も非常に低かった。

特に成果が見られた問題例

③ (3) 「条件に合わせてポスターをかく問題」では、複数の資料から、自分が伝えたい内容を選び、その資料に関連付けた内容を絵や言葉で表現することができている。

① (1) 「文章を読んで視覚的なイメージを捉える問題」では、文章から必要な情報を読み取り、イラストと関連付けることができている。

特に課題が見られた問題例

① (2) 「チェーンとギヤの仕組みの問題」では、条件に合ったギヤの組み合わせを選ぶ問題が、唯一大阪府の正答率より低い。日常的な場面の中で、算数的な能力を使って問題を解決することに課題がある。

③ (2) 「2つの資料から、特徴や共通点を見つけて表にまとめる問題」では、それぞれの特徴を選び出すことはできているが、共通点を文にまとめることができていない。

全国学力・学習状況調査及びすくすくウォッチ 6年生 児童アンケート

特に成果が見られたアンケート項目例

・ 今回の国語・算数の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。
[全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 88.4%]

・ 将来の夢や目標を持っている。 [あてはまる・どちらかといえばあてはまる 95.2%]

・ 自分と違う考え方の人と話しているとき、その人がどうしてそのように考えているかをわかろうとする。
[あてはまる・ややあてはまる 83.4%]

特に課題が見られたアンケート項目例

・ ふだん (月曜日から金曜日) 1日当たりどれくらいの時間、学習以外 (ゲームやSNS等) にスマートフォンやタブレット等を使っていますか。
[3時間以上 66.7%]

・ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。 [全くしていない・あまりしていない 19%]

・ 授業で学んだことを普段の生活にいかすようにしている。
[あてはまらない・どちらかといえばあてはまらない 42.9%]

結果を受けて

【学校が重点的に取り組んでいくこと】

- ・漢字や計算などの基礎的な技能を繰り返し定着させ、日常生活でも活用できる力を養う。
- ・学習内容が他教科や日常生活にどのように活かせるのかを意識できる授業を行う。
- ・物事を順序だてて論理的に考える力をつけるよう、自力解決等で図や絵だけでなく文章を使って書いていく学習を取り入れる。
- ・読みを深め、文章の中から問われていることに必要な情報や条件を取り出し、概要を理解する力を養う。
- ・複数資料から物事を考察する機会を増やし、着眼する部分やそこから分かることを確認させたり、それらの関係性を捉えさせたりするなどの段階的指導をする。
- ・自分の考えと比べたり、分からないことを質問したりして、双方向の話し合いをめざす。聞く側は相手の意見をきちんと聞き、話す側も相手を意識することで、自分の考えを深められるようにする。
- ・書く活動では、モデルとなる型を取り入れ、条件に合わせて自分の考えを工夫して表現できる力を養う。
- ・自分の意見や考えをまとめたり、共有したりするためのツールとしてICTを活用し、主体的に学習する態度を養う。
- ・学校生活の中で、何が正しいか自分で考えて行動できるよう指導する。

【児童のみなさんにしっかり取り組んでほしいこと】

- ・習った漢字や計算など基礎基本の学習にしっかり取り組み、日常生活で積極的に使いましょう。
- ・自分の考えをもち、書いたり発表したりしましょう。友だちの意見と比較し、その意図を考えたり良いところを見つけたりして、自分の意見にいかしましょう。
- ・めあてや目的を持ち、粘り強く学習に取り組みましょう。
- ・大事なことやわかったことに線を引いたりメモを書いたりして、具体的にイメージを持てるように、自分で整理する方法を考えましょう。
- ・自分から進んで計画をたてて勉強することが大切です。興味・関心のあることや苦手な教科の復習など自主勉強に積極的に取り組みましょう。
- ・ICT 機器は使い方によって良い面も悪い面も生まれます。学校で学んだことやおうちでの約束をしっかり守り、より良い使い方ができるようにしましょう。
- ・読書は今まで知らなかった世界や考え方を示してくれます。多くの本に触れ、その時に感じたことを読書ノートに書きましょう。
- ・毎日の学校生活を支えているのは、基本的な生活習慣です。「早寝・早起き・朝ごはんを食べる」を心がけましょう。

【保護者のみなさまに協力していただきたいこと】

- ・ご家庭において、一定時間机に向かうことは、学習の定着とともに家庭学習の習慣づけを行ううえでも重要です。学校からの宿題だけでなく、自主勉強など主体的に学習に取り組めるようご家庭でもご協力をお願いします。
- ・子どものスマホやゲームの使用時間が増えています。使用する時間の管理をお願いします。また SNS など投稿する言葉や内容にしっかり目を向けておいてください。約束ごとを決め、守ることで、子どもたちが気持ちよく生活することができます。
- ・新聞やテレビの報道などを見て、一緒に考える機会を作るなど、世の中の話題に目を向け、会話の時間を大切にしてください。
- ・子どもの安定した生活を支えるものは、基本的な生活習慣です。「起床、朝食、登校、夕食、就寝」などの生活習慣の確立を今後もお願いします。
- ・できるようになったこと、頑張り続けていることなど具体的な言葉で頑張りをお認め、ほめてあげてください。